

明海大学 不動産学部

不動産の不思議

第126回

学生たちの視点と発見

【学生の目】

民間賃貸住宅の空室率が20%を超えて25%に迫る中、ストック活用の一手法としてオンサイトマネージャーに注目し、修士論文の研究課題とした。オンサイトマネージャー

オンサイトマネージャー導入への一歩

一方、オンサイトマネ

の概要と実証実験については、「不動産の不思議第63回」(14年12月16日号)で報告した。今回はオンサイトマネージャーの担い手として想定する大学生を対象に行ったアンケート調査の結果を紹介する。アンケートは明海大学不動産学部の1年生から4年生の学生80人を対象とした。



木下 さわこ
大学院博士前期課程2年

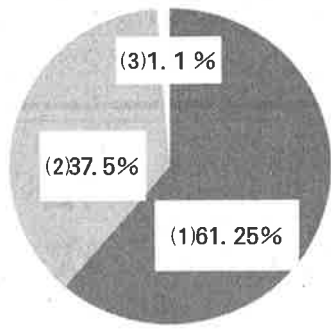
明海大生の6割が興味を示す

その結果、約60%の学生が興味を示しており、性別、国籍関係なく、オンサイトマネージャーは多くの学生に魅力的なことが明らかになった。また、オンサイトマネージャーをやりたい理由として、通学圏内が自立するためにやりたいという回答が多く、地方出身者だけでなく、通学圏内の学生の自立支援の一環としても有効だ。

き、トラブルを未然に防

そのほか、業務時間が自由に決められることが魅力的という回答も多く、オンサイトマネージャーは一般的なアルバイトに比べ、空いている時間に業務することが可能で、部活動や資格試験で忙しい学生にも魅力的である。また、座学では学べない現場の実態が学べることも魅力の一つである。

オンサイトマネージャーとして取り組みたい業務では、居住者のために



質問：オンサイトマネージャーをやりたいですか

- (1)OSMやりたい
- (2)OSMやりたくない
- (3)無回答

学生のオンサイトマネージャー参加意思の有無

の認知度はまだまだ低い。しかし、オンサイトマネージャーがいることで管理の質は向上し、居住者満足度を高めることにもつながるはずである。今後もオンサイトマネージャーの普及に携わりたいと考える。

【教員のコメント】
オンサイトマネージャーはサービス提供で住宅の魅力を高める。提供サービスで効果が得られること、担い手がいること、経営者に導入意欲があることが成立し持続する条件である。前者は2回の報告のとおり肯定的で、経営者も肯定的である。